



医療法人社団 洞仁会
洞爺温泉病院・介護医療院なのはな

とーや湖
さざなみ
通信 | TOYAKO
SAZANAMI
NEWS Vol.
82

第82号
広報誌

令和6年
1月22日
発行

- P.1 新任挨拶 診療部診療課 [医師] 井口 明
診療部診療課 [課長] 渡久山 晃
事務部総務課 [課長] 種谷 浩昭
事務部総務課 [次長] 上野 修司
- P.2 題名「有難うございます」 ― 介護医療院なのはな2階 [介護士] ス サンダー ウィン
- P.3 3回のミャンマー現地面接を通じて ― 事務部医事課 [課長] 若山 史恵
ハロウィンパーティー ― 介護医療院なのはな2階 [課長] 浅利 亜由美
- P.4 「北の随草録〈4〉」 ― 薬剤課 [薬剤師] 安藤 祐子
- P.5 ボツリヌス療法 ― リハビリテーション課 [理学療法士] 佐伯 拓磨
制服の更新について ― 事務部総務課 稲木 恭子
編集後記

【診療部診療課】〔医師〕井口 明

2023年9月より入職いたしました、井口 明(いぐち あきら)と申します。

地元は新潟県で、秋田大学を卒業後、佐渡ヶ島と新潟市内の急性期病院の内科・総合診療科で勤務しておりました。

この度、洞爺の美しい自然環境に魅せられ、妻子(と猫)とともに念願叶って引っ越して参りました。北海道初心者なので、色々教えていただけると嬉しいです。

限られた医療資源の中で、必要時は高次の医療機関と連携しつつ、診療して参ります。医者6年目の若輩者ではありますが、皆様の健康のお役に立つことができれば幸いです。ささいなことでも構いませんので、いつでも、ついでに、気軽に、ご相談ください。



【診療部診療課】〔課長〕渡久山 晃

この度、診療課長を拝命いたしました内科の渡久山晃(とくやまあきら)と申します。

現代の医療においてはチーム医療の重要性が叫ばれており、チーム医療の中心的存在は医師であると言われております。つまり質の高い医療を提供するためには、医師がリーダーシップを遺憾なく発揮し他のスタッフとの十分な連携を図ることが必要になります。

当法人はたしかに小さい町の小さい施設ではありますが、地域の皆様に質の高い医療を受けていただくためには我々の継続的なスキルアップが重要と考えております。その中心もやはり医師であり、自分自身も研鑽を積みながら周りのスタッフと共に成長し続けることが求められており、我々が果たすべき責務であります。

これからも皆様から「洞爺温泉病院なら安心して診てもらえるよね」と言っていただけるよう、小さい病院だからと妥協することなく常に向上心を持って精進して参ります。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。



【事務部総務課】〔課長〕 種谷 浩昭

この度、総務課課長へ就任いたしました種谷と申します。

当院へは平成23年1月に入社しました。前職は病院とは縁遠い仕事をしており、最初は医療業界の仕組みや業務もわからず右往左往する毎日でしたが、周りの仲間に助けられ、今年で13年間働くことができました。

総務課は病院の潤滑油のような存在だと考え、相談・サポート・+αの提案等ができるよう他の部署と関わることを心掛けています。

また、仕事をする際に自分に対し心掛けているのは初心を忘れない、微分して考える事です。初心というのは中々難しく、経験が良くも悪くも邪魔をし、何年も行ってきた業務を改めて見直すのもハードルが高いと感じます。その時に微分=業務を細かく分けてどこまでを今まで通り行い、どこからを見直すのかを自問自答し改善に取り組んでいます。

まだまだ未熟ではありますが総務課員の力を借り、病院が安定して運営できるよう関わり、ひいては利用者様のサービスに繋がる様努力したいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

【事務部総務課】〔次長〕 上野 修司

昨年9月より総務課次長を務めさせていただいております、上野修司と申します。

勤続年数は約10年と経験こそありますが、業務に関する知識が浅いと感じることも多く、その度に課内や他部署の皆様にご支援いただいている事を実感しております。

事務職員のため患者さんや利用者さんに直接関わる機会はありませんが、病院及び施設のスタッフがより良い医療や介護を提供できるよう、微力ながら環境を整備するサポート役としてチーム医療に関わって参りたいと思っております。

これからも経験を重ね「支える側」になれるよう努力して参りますので、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

題名 「有難うございます」

【介護医療院なのはな2階】[介護士]
ス サンダー ウィン

「有難うございます」、日本の土を初めて踏んだ時から、いつも聞こえている言葉です。自分に直接「有難う」と言われる時もあるし、他の人がお互いに言っているのを聞くこともあります。日本に来て、最初は「有難う」は私にとってはただの一つの言葉で、それ以上は感じませんでした。それは国同士の文化の違いからでしょうか。私にも分かりません。

私の国では「有難う」とか「ごめんなさい」とかはあまり言いません。「有難う」と「ごめんなさい」の気持ちは、相手の目や態度を見れば分かります。特に家族であるお母さん、兄弟、姉妹の間ではあまり言いません。「有難う」と言うのは恥ずかしくて、また言わないことで怒る人も誰もいません。逆に、言ったら他人みたいに感じるので怒られます。もし自分が有り難いと思うことをしてもらったら、「有難う」とは言わないけれど、その気持ちを心に込めています。

ミャンマーにいる時、ある先輩がそのおばさんから旅行のお土産をもらいました。そして次の日に会った時に、「昨日のお土産のおやつ美味しかった。有難う」と言ったら、おばさんは食べて欲しいので持ってきたのに、他人みたいに話をしていると怒られました。

本当は私も「有難う」の言葉には最初は慣れませんでした。日本に来る前に、日本語を勉強しようと思って、日本の学校の会社に二回面接に行きました。その会社の社長は日本人でした。面接の前に日本の習慣を調べてみると、とにかく面接が終わったら「有難うございます」と言わないと、最初の印象が良くないと思ったので、口から出して練習しました。

でも今、日本に来て1年も経っていないのに、前の私と今の私は全然違います。感謝する気持ちをためらわずに伝えられています。なぜなら私は今、介護技能実習生として洞爺温泉病院で実習しています。仕事で利用者さんのお世話をした後、「有難う」と言われると仕事の疲れがとれて、もっとお世話したい気持ちになるからです。利用者さんから「有難う」と言われると、利用者さんに信頼される介護士になりたいという気持ちが強くなりました。本当に興味があってやりがいがあると感じます。

ある日ミャンマーにいる友達からインターネットで、日本語について分からないことがあるから説明してくださいとお願いされたので、私は一生懸命説明したけれど、その人は「有難う」と言いませんでした。私はこれに怒りを感じました。そして私も日本人になったのかなとひとりで笑ってしまいました。

今は一人で暮らしてみても、家族の大切さを分かってきました。悩みがある時も慰めてくれて、いつも応援してくれている家族に対して、恥ずかしくなく「有難うございます」と言えるようになりました。（原文ママ）

【事務部医事課】
[課長]
若山 史恵

私の初めての現地面接は2020年3月、新型コロナ水際対策のため、いつ渡航中止になってもおかしくない状況下でしたが、無事にヤンゴン空港へ降り立つことができました。以降、今年を含め合計3回の現地面接で感じた、技能実習生候補たちの熱意、日本語習得への意欲は、鮮明に私の記憶に残っています。現地の生活状況、文化、歴史、宗教観などを実際に目で見て、香りを感じ、街の雑踏の音を聞くことで、自分は今ミャンマーの地にいるということを実感しました。

面接時間は決して長くありませんが、お互いに理解が深められるように、外国人材は日本で働くことへの思いを発表し、私たちはその思いを理解しようと努めました。彼女たちが生まれ育ったその国の背景について、少しでも思いをはせることができるのは、現地面接に行かせていただいた意義があったと考えております。

また、前頁のスさんの作文は、今年5月にJITOCO(公益財団法人国際人材協力機構)で行われた、外国人技能実習生の日本語作文コンクールに応募したものです。

実際に応募した作文は、全て手書きで丁寧に書かれており、私達が何気なく使っている習慣が、彼女たちにとっては全く別の習慣であることを知りました。また、自分の気持ちも含め、日本語で表現した文章に感銘を受けました。

ハロウィンパーティー



【介護医療院なのはな2階】
[課長]
浅利 亜由美

今年のハロウィンは「お化け屋敷」をやろう!と夏の終わり頃から準備を始めました。入口には案内係のキョンシーが立ち、屋敷の中には生首、河童、その他オバケ達がスタンバイしました。まずは、病院スタッフに試しに入ってもらおうと全員が「ワァ」「キャー!」と驚き、腰を抜かしそうなスタッフもいました。

さて、本番の利用者様達に楽しんでもらおうと、オバケ達は渾身の演技をしましたが、大半の方が「あらぁ、可愛い!」「よく出来ているねー」と笑顔で対応され、オバケとの握手を希望される方もいました。利用者様からは楽しい時間を過ごせたと好評をいただき、「長く生きていると色々な事があるから、オバケや幽霊なんかでは驚いてられないのよ。」と人生の大先輩からの言葉も聞くことができました。

今年入職したミャンマーの技能実習生達も、日本の「妖怪・お化け」について知る機会となり、とても興味深そうに参加していました。



「北の随草録〈4〉」



薬剤課[薬剤師] 安藤 祐子

冬は多くの生命が大地の中に身を潜めますが、この凍てつく季節にも変わらさず、青々とした葉を大空へと広げているトドマツに触れると、前向きな力が湧いてきます。

トドマツは、マツ科モミ属に分類され、北海道モミとも呼ばれます。モミの木は、太陽の力が最も弱まる極点において、静かな希望の光を灯す、生命の永遠性の象徴、クリスマス木の木として愛され続けてきました。その頂には、光の降誕を告げる星が輝きます。

枝先からは、明るく爽やかで奥行きのある香りが立ち上がり、天然の樟脳しょうのうカンフェン、針葉樹らしい香りのピネン、松脂まつやにを思わせるボルニルアセテート、柑橘の香りのリモネンなどの揮発性成分が、空気を清浄にし、呼吸を深め、外界との調和を



もたらし、神経バランスを整えるなどの効果で、私たちを包み込みます。これらの物質は、一般にフィトンチッドと呼ばれ、樹木自身を外界から守るものでもあります。

トドマツは、アイヌの人々が冬の夜営の際に、その枝葉を用いて仮小屋を作り、風雪を防いだと言われ、また、現在でも北海道における主要な建材となっています。

真っ直ぐに天を仰ぎ、どっしりと裾を広げる、その凛とした存在は、澄み切った闇夜に浮かぶ一条の光のように、万象の始まりの内に満ち、北国に住むものたちに宿る灯火ともしびを守っているように思われます。



ボツリヌス療法



【リハビリテーション課】 [理学療法士]佐伯拓磨

あけましておめでとうございます。
当院は昨年10月から多職種協働で実施するボツリヌス療法を開始しました。ボツリヌス療法とはボツリヌス菌が作り出すたんぱく質を有効成分とする薬を筋肉内に注射し、「痙縮(けいしゅく)」の改善を図る治療法です。痙縮とは脳卒中や神経疾患等を起因として筋肉に力が過剰に入りやすくなってしまい、手足がつっぱって、動かしにくくなる状態を指します。よく食中毒の原因菌となるボツリヌス菌と聞いて、不安になられる方もいらっしゃると思いますが、ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので感染の可能性はありません。

ボツリヌス治療により注射した筋肉がやわらかくなり、「曲げる」「伸ばす」などの動作が容易になることで、日常生活動作やリハビリテーション、日常の介助等が行いやすくなるのが期待できます。

残念ながら注射を打っただけで動かなかった手足が動くようになるという魔法の薬ではありませんが、リハビリテーションと併用することで機能や能力が向上するという報告が多く出されています。外来での治療も可能ですので、興味や関心のある方、何か疑問のある方は当院までご連絡ください。

制服の更新について



【事務総務課】 稲木恭子

事務部では2年に1度、制服の更新があります。昨年がその年に当たり、各課で夫々新しい制服になりました。

何冊もあるカタログの中から各個人で候補のシリーズを選び、それを試着してみ、最終的には課内で相談して決定しています。その結果、医事課の女性は同じシリーズの中からグレーとネイビーをベースに3タイプを、医療相談室の女性は違うシリーズからオーバーブラウスとベストを、総務課の女性は同じシリーズの中からオーバーブラウスとベストを選びました。また、男性職員も制服は更新しましたが、医事課の男性がブラックからグレーに変わった他は、総務課・医療相談室共、前回と同じタイプの物を選びました。

一般的に事務職は統一された制服の職場が多い中、各課で好きなデザインが選べるというのは、その課ごとの個性が出るという事もあります。患者さんや来院された方が、用件別に話し掛けやすいという利点もあります。

事務職は立ったり座ったりの業務が多い為、2年の間に、特にボトムは傷みが激しくなりがちですが、次回の更新まで大切に着用して行きたいと思っています。

診察やお見舞い等で来院された際には、制服の違いにも是非注目してみてください！

【洞爺温泉病院 理念】

- 個別性を尊重した医療の提供
- 信頼されるチーム医療の実践

【介護医療院なのはな 理念】

- 利用者の個別性を尊重した、快適な生活施設
- 信頼されるチーム医療・介護の実践
- 尊厳ある看取りが行われる

<編集後記>

新しい年を迎えて、身が引き締まると同時に、年齢を重ねることで、自分の変化が気になるようになってきました。それは、段々と目が見えにくくなってきて、音も聞こえにくくなっていくという現象です。部屋は以前と比べて明るくして過ごすことが増えて、テレビや車のラジオの音量は、大きくすることが増えた気がします。幼いときに、自分の祖父母に対して、不思議な感覚がありましたが、その不思議さがようやくわかるようになってきました。(MT)

企画・編集 / 医療法人社団 洞仁会洞爺温泉病院 広報図書委員会
〒049-5892 虻田郡洞爺湖町洞爺町54-41
【TEL】0142-87-2311 【FAX】0142-87-2260
【ホームページ】<http://www.toya-onsen-hospital.or.jp>



洞爺温泉病院HP